

第29回 自然エネルギー上小ネット 情報交流会

「地域エネルギーとして、地産木質バイオマスの利用を考える」

長野県の8割を占める森林には、木材の生産、二酸化炭素を吸収する地球温暖化防止、化石燃料代替エネルギー、水源のかん養、生物多様性の保全、保健・レクリエーションなどの多面的機能があります。森林資源をどのように再生しながら活用するか、バイオマスボイラーの活用事例と共に森林資源を一緒に考えましょう。



講演と事例報告

1. 講演 (13:40～14:20)
テーマ「生態学からみる森林のエネルギー」
林 一六氏 (筑波大学名誉教授)
2. 講演 (14:20～15:00)
テーマ「手が届かない木、燃やせる木 ～木を資源として考える～」
大里 昌直氏 (長野県上小地方事務所 林務課)
3. 講演 (15:10～15:40)
テーマ「木質バイオマスボイラーの開発と実用最新報告」
～ 松くい虫被害木が素晴らしい燃料になります ～
開発・製造：(有)長岡鉄工所、(有)太田鉄工所
川田 富夫氏 (エコ屋ごしょうらく 代表)
4. 質疑応答 (15:40～16:00)

- ・日時： 平成27年10月3日(土) 13:30～16:00
- ・会場： 上田情報ライブラリー (上田駅前ビル「パレオ」2F会議室)
<http://www.echol.gr.jp/inet/info/joholib.html>

- ・主催者： 自然エネルギー上小ネット
問合せ 090-1533-2072 (末広) ssyslab@gmail.com
- ・参加費： 無料
- ・申込み： どなたでも参加できます。 申込み不要